

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和7年度（1学年用）教科

国語

科目

言語文化

教科：国語 科目：言語文化

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～8組

教科担当者：（2組4組6組7組：島）（1組3組5組7組：倉田）

使用教科書：（「精選 言語文化」 東京書籍）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようとする。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。)

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようとする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようとする。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたりて読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

1 学 期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話 聞 書 読	評価規準	知 思 態			配当時数
					○	○	○	
	古文入門 「児のそら寝」	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的仮名遣い、文節や單語など区切りに注意して音読させる。 古語辞典の使い方を理解した上で、主要な語句の意味を確認し、古文と現代文の違いを理解させる。 読み解を通して当時の人々の生活や説話の面白さを理解させる。 一人1台端末の活用 	○	<p>〈知識・技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 文節や単語など区切りに注意して音読することができる。【指名読み】【音読テスト】 古語辞典の使い方を理解し、使いこなすことができる。【ワークシート】 <p>〈思考・判断・表現〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 主要な語句の意味を確認し、古文と現代文の違い理解している。【ワークシート】【定期考査】 <p>〈主体的に学習に取り組む態度〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 作品の読み解きを通して、積極的に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとしている。【学習活動の振り返りシート】 	○	○	○	3
	古文入門 「絵仏師良秀」	<ul style="list-style-type: none"> 動詞の活用を理解する。 人物（行動や心情）、情景（場面、状況、風景）、出来事（何を、どうした）を読み取る。 登場人物の心情を理解し、それに対する自分の考えを持つ。 一人1台端末の活用 	○	<p>〈知識・技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 動詞を抽出し、活用表を作成することができる。【ワークシート】【小テスト】 <p>〈思考・判断・表現〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 人物（行動や心情）、情景（場面、状況、風景）、出来事（何を、どうした）を読み取ることができる。【ワークシート】【定期考査】 <p>〈主体的に学習に取り組む態度〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 作品の読み解きを通して、積極的に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとしている。【学習活動の振り返りシート】 	○	○	○	4
	定期考査				○	○		1
	随筆 『徒然草』 「丹波に出雲といふ所あり」「ある人、弓射することを習ふに」	<ul style="list-style-type: none"> 用言の活用を理解する。 読み解きを通して、文章の形態の違いを区別し、随筆という文章の表現技法や語句の使い方の工夫をとらえて読むことができる。 文脈をとらえ要約することで、筆者の考えを読み取る。 一人1台端末の活用 	○	<p>〈知識・技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 文脈の形態の違いを区別し、隨筆という文章の表現技法や語句の使い方の工夫をとらえて読むことができる。 用言の活用を理解し、文法的説明ができる。【ワークシート】【小テスト】【定期考査】 <p>〈思考・判断・表現〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 文脈をとらえ、筆者の考え方などを読み取ったり、指定された字数で要約したりすることができる。【ワークシート】【定期考査】 <p>〈主体的に学習に取り組む態度〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 作品の読み解きを通して、積極的に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとしている。【学習活動の振り返りシート】 	○	○	○	8
	『枕草子』 「五月ばかりなどに山里に歩く」「ありがたきもの」	<ul style="list-style-type: none"> 文中の用言を見つけ出し、文法的説明をする。 文章に表れたものの見方・考え方をとらえる。 身の回りの物事から「をかし」「ありがたし」と感じることを探し、文章にまとめる。 一人1台端末の活用 	○	<p>〈知識・技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章の形態の違いを区別し、隨筆という文章の表現技法や語句の使い方をとらえて読むことができる。 用言の活用を理解し、活用表を完成させることができる。【ワークシート】【小テスト】 <p>〈思考・判断・表現〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 文脈をとらえ、筆者のものの見方・考え方などを読み取り内容を解釈することができる。【ワークシート】【定期考査】 <p>〈主体的に学習に取り組む態度〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章の種類を踏まえ、内容や構成、展開などについて、積極的に考え方を深め自らの学習を調整しようとしている。【学習活動の振り返りシート】 	○	○	○	8
	定期考査				○	○		1

2 学 期	歌物語 『伊勢物語』 「芥川」 「東下り」	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な助動詞について理解する。 ・「物語」の設定を理解し、登場人物のおかれた状況や心情を読み取る。 ・『伊勢物語』に描かれた世界観や人間のありようを考える。 ・一人1台端末の活用 	○	<p>〈知識・技能〉 基本的な助動詞について、その意味の違いを理解し、解釈に結び付けることができる。 【定期考査】</p> <p>〈思考・判断・表現〉 物語を読み、登場人物がおかれた状況や心情を理解できる。 【ワークシート】【定期考査】</p> <p>〈主体的に学習に取り組む態度〉 物語に描かれた世界観や人間のありようについて、自分の意見を持つとともに、意見の交換をもとにして自らの学習を調整しようとしている。 【グループワーク】【ワークシート】【学習の振り返りシート】</p>	○ ○ ○	8
	日記 『土佐日記』 「馬のはなむけ」 「帰京」	<ul style="list-style-type: none"> ・『土佐日記』「馬のはなむけ」を読んで、書き手のおかれている状況や心情について考える。 ・一人1台端末の活用 	○	<p>〈知識・技能〉 助動詞の意味と活用、接続を理解し、文法的説明ができる。 【定期考査】</p> <p>〈思考・判断・表現〉 ・「日記」を読み、それぞれの場面に描かれた作者の心情を理解できる。 【ワークシート】【定期考査】</p> <p>〈主体的に学習に取り組む態度〉 「旅」が呼び起こした人生観と向き合い、自分なりの考えを持つとともに、意見の交換をもとにして自らの学習を調整しようとしている。 【グループワーク】【ワークシート】【学習の振り返りシート】</p>	○ ○ ○	8
	定期考査				○ ○	1
	現代文編 小説 I 「羅生門」 古典作品の典拠利用「今昔物語集」	<ul style="list-style-type: none"> ・近代以降の文学作品とその原作とを読み比べ、作品の特徴について考える。 ・作品の構成、場面や状況における登場人物の心情を理解する。 ・小説とその典拠になった説話を読み比べ、小説の読みを深める。 ・一人1台端末の活用 	○ ○	<p>〈知識・技能〉 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 【ノート】【定期考査】 ・漢字・語句 【小テスト】</p> <p>〈思考・判断・表現〉 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 【ワークシート】【プレゼンテーション内容】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつていて。 【定期考査】</p>	○ ○ ○	8
	和歌 『万葉集』『古今和歌集』 『新古今和歌集』	<ul style="list-style-type: none"> ・三大集を読み比べ、それぞれの特質について考える。 ・一人1台端末の活用 	○	<p>〈知識・技能〉 和歌の技法について理解をし、説明ができる。 【定期考査】</p> <p>〈思考・判断・表現〉 ・各歌集の代表詩を読み、それぞれの場面に描かれた作者の心情を理解できる。 【ワークシート】【定期考査】</p> <p>〈主体的に学習に取り組む態度〉 和歌の内容の違いを、時代背景に結びつけて理解しようとしている。 【グループワーク】【ワークシート】【学習の振り返りシート】</p>	○ ○ ○	8
	定期考査				○ ○	1
	漢文入門	<ul style="list-style-type: none"> ・漢文の基本的なきまりに従って音読する。 ・訓点や、基本的な再読文字・置き字・句法について理解する。 ・未や能などの基本的な漢語の意味を理解する。 ・一人1台端末の活用 	○	<p>〈知識・技能〉 ・漢文の基本的なきまりに従って音読することができる。 ・訓点や、基本的な再読文字・置き字・句法について理解し、訓読するとともに口語訳ができる。 【定期考査】</p> <p>〈思考・判断・表現〉 漢文の訓読のきまりについて理解し、漢文の世界に关心を持つことができる。 【ワークシート】【定期考査】 〈主体的に学習に取り組む態度〉 漢文の訓読のきまりについて理解し、さらなる学びへの意欲を持ち自らの学習を調整しようとしている。 【学習活動の振り返りシート】</p>	○ ○ ○	4
	寓話 「借虎威」 「朝三暮四」 史話 「晏子之御」	<ul style="list-style-type: none"> ・描かれた人物、場面、時代や場所、状況、出来事、情景を読み取ることができる。 ・物語の展開ごとに内容を的確につかみ、故事成語の背景を知る。 ・「史話」に描かれた人物の言動や心情を読み取る。 ・「史話」の魅力を理解し、読み継がれてきた意義を考える。 ・一人1台端末の活用 	○	<p>〈知識・技能〉 ・漢文の基本的なきまりに従って音読することができる。 ・訓点や、基本的な再読文字・置き字・句法について理解し、訓読するとともに口語訳ができる。 【定期考査】</p> <p>〈思考・判断・表現〉 ・今も生きる人生の教訓や風刺などを読み取ることができる。 ・「故事成語」との対話をとおして、自分の意見を持つことができる。 ・登場人物のおかれた状況や心情を読み取ることができる。 ・「史話」が読み継がれてきた意義について理解し、自分の意見を持つことができる。 【ワークシート】【定期考査】 〈主体的に学習に取り組む態度〉 ・「故事成語」「史話」が読み継がれてきた意義について理解し、自分の意見を持つとともに、さらなる学びへの意欲を持ち自らの学習を調整しようとしている。 【学習活動の振り返りシート】</p>	○ ○ ○	6
	定期考査				○ ○	1
						合計 70